

皇居三の丸尚蔵館 グランドオープンイベント in 表慶館 開催決定
高精細複製 伊藤若冲《動植綵絵》と狩野永徳《唐獅子図屏風》を公開！
令和8年(2026)4月17日(金)～5月17日(日)

皇居三の丸尚蔵館は、国立文化財機構文化財活用センターとキャノン株式会社による、「文化財の高精細複製品の制作と活用に関する共同研究プロジェクト」のもと、同館が収蔵する伊藤若冲筆 国宝《動植綵絵》の高精細複製品を制作しました。このたび完成を記念して、令和8年(2026)4月17日(金)から5月17日(日)まで、東京国立博物館 表慶館で初公開します。《動植綵絵》の複製品30幅を前後期15幅ずつ入れ替えて展示するほか、令和5年(2023)度に制作した狩野永徳の国宝《唐獅子図屏風》の高精細複製品も併せて展示いたします。

本展は、今年の秋に予定されている皇居三の丸尚蔵館のグランドオープンに先立ち開催します。皇居三の丸尚蔵館が守り伝える美と歴史、その橋渡しとなる展示をぜひご鑑賞ください。



【開催概要】

[イベント名] 皇居三の丸尚蔵館 グランドオープンプレイベント in 表慶館

高精細複製 伊藤若冲《動植綵絵》狩野永徳《唐獅子図屏風》

[会 期] 令和 8 年(2026) 4 月 17 日(金)～5 月 17 日(日)

前期:4 月 17 日(金)～5 月 1 日(金) 後期:5 月 2 日(土)～5 月 17 日(日)

[会 場] 東京国立博物館 表慶館(東京・上野公園)

東京都台東区上野公園 13-9

[休 館 日] 月曜日 *ただし 4 月 27 日(月)、5 月 4 日(月・祝)は開館

[開館時間] 午前 9 時 30 分～午後 5 時(入館は閉館の 30 分前まで)

*毎週金・土曜日、5 月 3 日(日・祝)、4 日(月・祝)、5 日(火・祝)は午後 8 時まで開館

[入 館 料] 無料(事前予約不要)

*ただし東博コレクション展(平常展)または前田育徳会創立百周年記念 特別展「百万石！加賀前田家」の観覧券が必要

<東博コレクション展(平常展)観覧料>

一般 1,000 円、大学生 500 円

*特別展の観覧料や入館方法は、特別展公式サイトでご確認ください。

*高校生以下および満 18 歳未満、満 70 歳以上の方は、東博コレクション展について無料です。年齢の分かるものをご提示ください。

*東京国立博物館キャンパスメンバーズ会員校の学生・教職員は、東博コレクション展について無料です。正門チケット売場(窓口)にて、キャンパスメンバーズ会員の学生・教職員であることを申し出、学生証・教職員証をご提示ください。

*障がい者とその介護者各 1 名は無料です。障がい者手帳等をご提示ください。

★東京国立博物館の利用案内は、東京国立博物館ウェブサイト <https://www.tnm.jp/> をご確認ください。

[作品点数] 31点 *出品作品は全て皇居三の丸尚蔵館収蔵の高精細複製品

[主 催] 皇居三の丸尚蔵館

[特別協力] 東京国立博物館、文化財活用センター、キヤノン株式会社、特定非営利活動法人 京都文化協会

[ウェブサイト] イベント特設ウェブサイト <https://pr-shozokan.nich.go.jp/2026pre-event/>

皇居三の丸尚蔵館公式ウェブサイト: <https://shozokan.nich.go.jp/>

東京国立博物館の利用案内は、東京国立博物館ウェブサイト <https://www.tnm.jp/> をご確認ください。

[お問合せ] 050-5541-8600(ハローダイヤル)

本展では写真撮影が可能

写真撮影について

非営利かつ私的使用の目的でのみ撮影が可能です。

(動画、パノラマ撮影はご遠慮ください。フラッシュ、三脚、自撮り棒は使用できません。また、撮影の際は他のお客様にもご配慮いただき、長時間場所を占有しないようにご注意ください。)

100年ぶり！表慶館での動植綵絵の展示

今からちょうど100年前の、大正15年(1926)。表慶館(当時は東京帝室博物館)にて、「御物 若冲筆動植綵絵三十幅特別展」(10月16日から31日)が開催されました。30幅を一堂に展示したこの特別展は、史上初の「動植綵絵展」だったのです。

《動植綵絵》は今や国宝に指定されましたが、高精細複製品の完成によって、大正の「動植綵絵展」から100周年の記念すべきこの年に、かつての展示をしのばせるイベントを開催することが可能となりました。



広報画像1 東京国立博物館 表慶館の外観

【公開する高精細複製品のご紹介】

【高精細複製品】《動植綵絵》制作:キヤノン株式会社(2026年) 皇居三の丸尚蔵館収蔵
オリジナル作品 国宝《動植綵絵》伊藤若冲 江戸時代(18世紀) 皇居三の丸尚蔵館収蔵
30幅を前後期15幅ずつ入れ替えて展示します。

【展示期間:4/17~5/1】

【展示期間:5/2~5/17】



広報画像4 《芍薬群蝶図》



広報画像5 《群鶏図》



広報画像6 《牡丹小禽図》



広報画像7 《紫陽花双鶏図》

前期 :4月17日(金)~5月1日(金)

芍薬群蝶図、雪中鴛鴦図、向日葵雄鶏図、梅花皓月図、老松孔雀図、老松白鶏図、芦鶯図、梅花群鶴図、棕櫚雄鶏図、桃花小禽図、群鶏図、薔薇小禽図、池辺群虫図、諸魚図(蛸)、菊花流水図

後期:5月2日(土)~5月17日(日)

梅花小禽図、秋塘群雀図、紫陽花双鶏図、大鶏雌雄図、芙蓉双鶏図、老松鸚鵡図、南天雄鶏図、蓮池遊魚図、雪中錦鶏図、牡丹小禽図、貝甲図、老松白鳳図、芦雁図、群魚図(鯛)、紅葉小禽図



広報画像 2

【高精細複製品】《唐獅子図屏風》(右隻) 制作:キヤノン株式会社
(2023年) [展示期間:4/17~5/17] 皇居三の丸尚蔵館収蔵

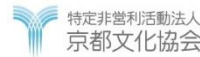
オリジナル作品 国宝《唐獅子図屏風》(右隻) 狩野永徳 安土桃山時代
(16世紀) 皇居三の丸尚蔵館収蔵

高精細複製品について

—高精細複製品を用いた日本の文化財活用のための共同研究プロジェクト—

キヤノンと特定非営利活動法人 京都文化協会が進める「綴プロジェクト」の技術を活用して制作しています。キヤノンの入力、画像処理、出力に至る先進のイメージング技術と、京都伝統工芸の匠(たくみ)の技との融合により、作品の大きさだけでなく、絵師の筆遣い、岩絵具の鮮やかな色、金箔や金具に至るまで、オリジナルの文化財を限りなく忠実に再現しています。

ガラスケースに遮られずにご覧いただける複製品ならではの鑑賞を通して、細部までよみがえる美をお楽しみください。



関連イベント

会期中、本展会場にて《動植綵絵》・《唐獅子図屏風》の塗り絵とスクラッチアートの無料体験コーナーを設置いたします。子どもから大人までどなたでもご参加いただけます。鑑賞とあわせてお楽しみください。

今年秋、皇居三の丸尚蔵館は、グランドオープンへ！

皇居三の丸尚蔵館では、皇室にゆかりの絵画・書・工芸品などを収蔵し、保存管理、調査研究、展示公開を行っています。令和元年(2019)からは、収蔵庫と展示室を拡充し、より充実した活動を行うために、新たな施設の建設が進められています。現在は休館中で、本年秋に全面開館を予定しています。

*全面開館の時期につきましては、確定しだい当館公式ウェブサイトや SNS などにて改めてご案内します。



広報画像3 皇居三の丸尚蔵館 外観(南面)

公式サイト:<https://shozokan.nich.go.jp/>

公式Instagram:@shozokan_pr

【報道に関するお問い合わせ】

皇居三の丸尚蔵館広報事務局(共同 PR 内) 担当:三井

TEL: 03-6264-2382 E-mail: shozokan-pr@kyodo-pr.co.jp